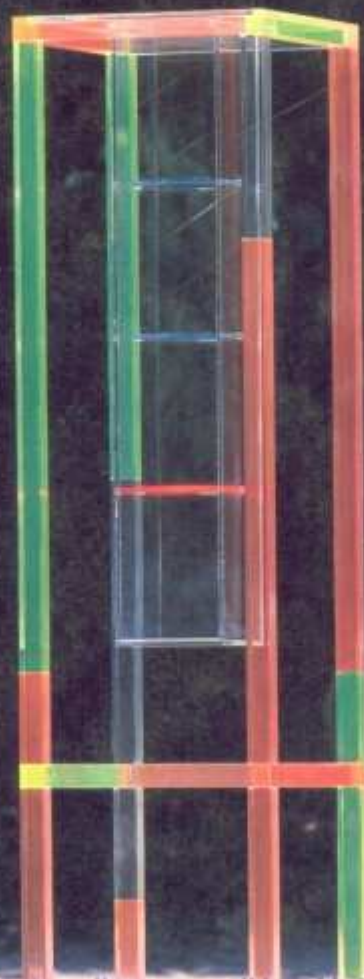


ウインド/世界のニューショップ&インテリアデザイン

W·I·N·D

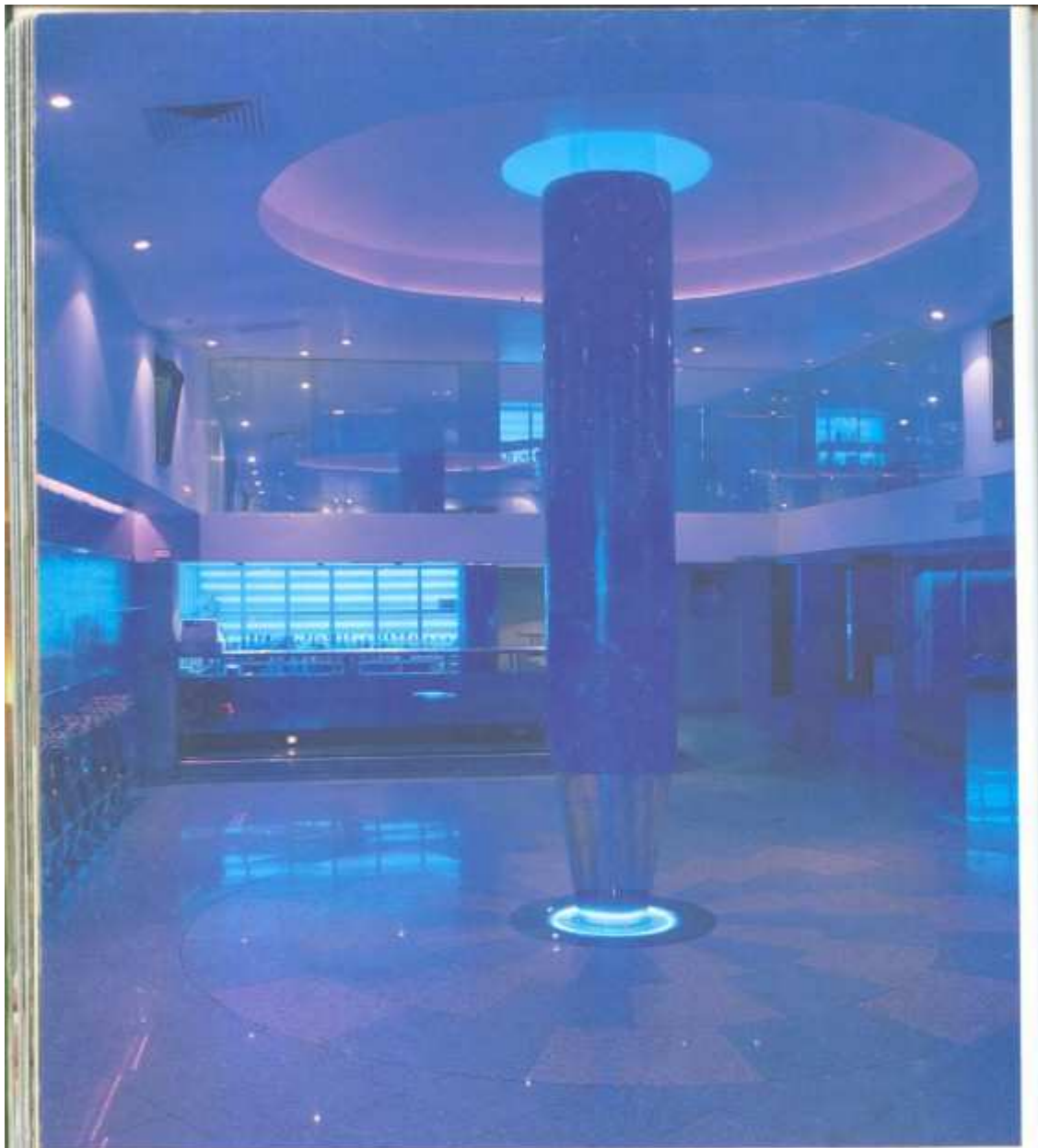
World Interior Design

NO.12 AUTUMN 1990



CITY特集/マドリッド—“ヨーロッパ”と直結する地中海スタイル
官能のインゴット/倉俣史朗のアクリル・オブジェ:写真・篠山紀信
特集/スカンジナビアン ファニチュア フェア'90

商店建築9月増刊



C I T Y 特 集



熱気を包むブルーの空気

ディスコバー リブレ

Disco-bar LIBRE

Design Guillermo Blanco

The pop disco theme bar where young people in Madrid once assembled in for fun. The care of the space design is the decorative column with neon lights at the ceiling and on the floor. The painting on this column looks very modern at first sight, however, the technique known as lapisluzuli which can not be found easily these days is introduced. This is a traditional painting technique of Spain.

Adm : Francisco de Rojas 9 Madrid



一時 MADRID 中の若者が来たというディスコバーでブルーを基調としたクールな雰囲気。夜明けのダンスフロアを囲んで60コニーのようにガラス張りの中置階がある。

不定期にくる50名のアロームパイプの手摺に導かれ中置階に上がっていくと、いくつかのテーブルがありスペイン製のモダンなアルミのイスが配されている。上から見下ろすとダンスフロアの真ん中にある柱が空間のシンボルになっているのがよくわかる。下階りの階段の下部にステンレス板を置き、その床に青とブルーのネオンを埋めている。そして上階の天井が天井に付いた。必要に応じて、そのようにして配して、そのようにして配して、そこにブルーのネオンを埋めている。必要に応じて、そのようにして配して、そこにブルーのネオンを埋めている。



Photo by Yuki Maruyama
Illustration by Masahiro Takahashi

ところどころ金箔の入ったこの円柱の塗装は、壁の一部帯状に入っている塗装と同じくスペインではLapidazulという塗装の技術でこれをこなせるのは今ではマドリッドでも2、3人の職人を数えるだけだという。壁面のかなり高い位置(300cmほど)にガラス置き用のガラス棚が通っているのも面白い。設計者は「この種のバーやディスコはベージュとかグレーの色を使ったインテリアが多かったが、それに対しショッキングな色を使いたかった。ブルーははくの好きな色だ」と語ってくれた。

1. ディスコバーのデザインコンセプトは、青とブルーのネオンを埋め、そのようにして配して、そこにブルーのネオンを埋めている。
2. ディスコバーのデザインコンセプトは、青とブルーのネオンを埋め、そのようにして配して、そこにブルーのネオンを埋めている。
3. ディスコバーのデザインコンセプトは、青とブルーのネオンを埋め、そのようにして配して、そこにブルーのネオンを埋めている。
4. ディスコバーのデザインコンセプトは、青とブルーのネオンを埋め、そのようにして配して、そこにブルーのネオンを埋めている。